



2010年（第21回）非開削技術研究発表会 開催のご案内

- 日時：2010年11月30日（火） 8:45 受付開始 9:00 開演
- 会場：発明会館（東京都港区虎ノ門2-9-14 03-3502-5499）
- 主催：JSTT・日本非開削技術協会 <http://www.jstt.jp>（電話03-5639-9970）
- 後援：（社）日本下水道管渠推進技術協会
- 参加費：会員3,000円（参加・論文集費）
官庁・学校関係1,000円、非会員6,000円（参加・論文集費）
- 継続教育：土木学会（CPD：7.4単位）、全国土木施工管理技士会連合会（CPDS：8エット）プログラム認定済
- 懇親会：発表会終了後：発明会館の7Fクラブにて（懇親会費：3,000円）

プログラム

開会挨拶 (9:00~9:05) JSTT・日本非開削技術協会 会長 松井大悟			
第1セッション 非開削技術の海外展開 (9:05~9:40) 座長：国土館大学 理工学部 教授 堀地 紀行			
1.1	台湾での推進事情	機動建設工業(株)	竹内 俊博
1.2	海外での長距離推進工事への挑戦	ヤスタエンジニアリング(株)	杉本 理

第2セッション 非開削 管内検査・調査技術 (9:40~10:55) 座長：（社）全国上下水道コンサルタント協会 専務理事 櫻井 克信			
2.1	内径形状の精密測定・解析（プロファイリング）システム	(株)カンツール	後藤 幹雄
2.2	大口径管きょテレビカメラ調査機を使用した調査事例	管清工業(株)	高橋 宏
2.3	内径測定機による小口径管調査システムの開発	大林道路(株)	千田 尚
2.4	自立型管内漏水検知システム「スマートボール・システム」	東亜グラウト工業(株)	大野 信之

(休憩 10:55 ~ 11:10)

第3セッション 非開削 管更生技術 (11:10~12:00) 座長：（財）下水道新技術推進機構 下水道新技術研究所 所長 藤木 修			
3.1	更生管耐震マンホール継手の開発	積水化学工業(株)	高谷 明彦
3.2	ケーブル収容管補修技術	日本電信電話(株)	小高 直樹
3.3	高温廃液の排水管路を対象とした非開削更生工法の開発	積水化学工業(株)	兵頭 正浩

(昼食休憩 12:00 ~ 13:00)

第4セッション 非開削 地下探査技術 (13:00~14:10) 座長：(公益社団) 日本下水道管路管理業協会 専務理事 田中 修司			
4.1	ホーンアンテナを用いた舗装厚調査事例	応用地質(株)	山下 善弘
4.2	ジャイロによる非開削探査技術について	大阪ガス(株)	綱崎 勝
4.3	地下埋設物の三次元非破壊探査手法「埋設管マッピングシステム」の電線共同溝事業への活用と効果事例	ジオ・サーチ(株)	秋元 章
4.4	高精度表面波探査とマイクログラビティ探査による推進工法で施工された下水道管の陥没発生リスクの把握	応用地質(株)	安藤 伸

第5セッション 非開削 管推進計測技術 (14:10~15:20) 座長：(株) 建設技術研究所 水システム部 下水道室長 今井 一彦			
5.1	進化する曲線位置計測技術「prism」	アイレック技建(株)	今田 達郎
5.2	推進管を用いた光ファイバーセンサーによるシールド進行方向 掘進中の連続地中変位計測	国土舘大学	堀地 紀行
5.3	CCDカメラおよび電磁波・GPSを用いた小口径推進の測量方法について	ヤスタエンジニアリング(株)	大谷 義一
5.4	レーザーと光センサを利用した2次元変位計測システムの開発	(独)労働安全衛生総合研究所	伊藤 和也

(休憩 15:20 ~ 15:35)

第6セッション 非開削 管推進技術 (15:35~17:00) 座長：(社) 日本下水道管渠推進技術協会 技術部長 川相 章			
6.1	巨石地盤における長寿命破碎型掘進機を用いた長距離推進事例	(株)アルファシビルエンジニアリング	松元 文彦
6.2	環境に配慮した玉石混り砂礫層の長距離推進	機動建設工業(株)	泉 恵介
6.3	超急曲線掘進機を用いたUターン施工の推進工事の実績	東京電力(株)	大野 弘城
6.4	誘導式水平ボーリングによる備蓄タンクの液状化対策工事	(株)キャプティ	永島 勝
6.5	掘進機構の異なる種々の推進工法における数値解析のモデル化に関する検討	九州大学	佐藤 徹

第7セッション 非開削 社会的費用、その他応用技術 (17:00~17:50) 座長：東京電力(株) 電力流通本部 マネージャー 竹内 友章			
7.1	雨水集水ます浸透化工法 — EGSM工法 —	(株)ホウショウEG	影目 一夫
7.2	社会的費用を考慮した下水道管渠のストックマネジメントの提案	北九州市立大学	岩下 達也
7.3	パイプラインの位置修復グラウチングに伴うグラウト材挙動と周辺地盤変状の関連性について	九州大学	幸村 将士

懇親会 18:15 ~ 7F クラブ にて